



フェアな価格 確かな信頼

ローリーラック

Lorry Rack

☆RIM LORRY RACK PRICE INTELLIGENCE DAILY

★NO. 4426 Mar 01 2017

Copyright (C) 2017 RIM Intelligence Co. All Rights Reserved.

東京時間2017年3月1日水曜日17時30分<Assessment Closing Time>

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

「4リム価格」は登録商標です 登録番号・第5660925号

「リムラック価格」は登録商標です 登録番号・第5660926号

◎2~4月の月末アセスメント評価対象について

①2~3月の月末アセスメントは通常通り翌日の受渡物を評価対象とし、2~7日先までの受渡物を参考とします。

②4月の月末アセスメントは最終日となる28日が金曜日、翌日29日土曜日が祝日となるため、アセスメント対象は5月1日月曜日の受渡物となります。

○1日のレックス22

前日から1.07ポイント低下し100.84です。

【リムレポートサンプル】 ※レポート名をクリックすると、各レポートの見本にジャンプします。
サンプルは本日付けではございません。あらかじめご了承ください。

[原油・コンデンセート](#) [Bunker](#) [LPG](#) [LNG](#) [アジア石油製品](#) [ローリーラック](#)
[石油化学](#) [RIM Data File](#) [石油化学データ](#) [中国語版ウェブサイト](#)

東京時間2017年3月1日水曜日17時30分

◎東名阪製油所出しローリーラック市況 (EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内)

油種	千葉	中値	前日比	川崎	中値	前日比	京浜中値	前日比
ガソリン	53.0 ~ 53.5	53.25	+0.25	53.0 ~ 53.5	53.25	+0.25	53.25	+0.25
灯油	50.2 ~ 51.2	50.70	0.00	50.2 ~ 51.2	50.70	0.00	50.70	0.00
課税軽油	49.5 ~ 50.5	50.00	0.00	49.5 ~ 50.5	50.00	0.00	50.00	0.00
未課税軽油	50.7 ~ 51.3	51.00	0.00	50.7 ~ 51.3	51.00	0.00	51.00	0.00
A重油	48.7 ~ 49.7	49.20	0.00	48.7 ~ 49.7	49.20	0.00	49.20	0.00
LSA重油	49.2 ~ 50.2	49.70	0.00	49.2 ~ 50.2	49.70	0.00	49.70	0.00

油種	中京	中値	前日比	阪神	中値	前日比	4リム中値	前日比
ガソリン	52.2 ~ 53.0	52.60	+0.10	53.0 ~ 53.5	53.25	0.00	53.09	+0.15
灯油	50.5 ~ 51.5	51.00	-0.30	50.7 ~ 51.3	51.00	-0.15	50.85	-0.11
課税軽油	49.5 ~ 50.5	50.00	+0.50	49.7 ~ 50.5	50.10	0.00	50.03	+0.13
未課税軽油	51.0 ~ 51.5	51.25	+0.60	50.7 ~ 51.5	51.10	0.00	51.09	+0.15
A重油	49.2 ~ 50.0	49.60	+0.20	49.1 ~ 49.8	49.45	0.00	49.36	+0.05
LSA重油	49.6 ~ 50.4	50.00	+0.10	49.6 ~ 50.3	49.95	0.00	49.84	+0.03

◎東名阪油槽所出しローリーラック市況 (EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内)

油種	八潮	中値	前日比	横浜	中値	前日比	京浜中値	前日比
ガソリン	53.7 ~ 54.2	53.95	0.00	53.2 ~ 54.2	53.70	0.00	53.83	0.00
灯油	51.0 ~ 52.0	51.50	0.00	51.0 ~ 52.0	51.50	0.00	51.50	0.00
軽油	50.4 ~ 51.4	50.90	0.00	52.5 ~ 53.5	53.00	+0.50	51.95	+0.25
A重油	50.0 ~ 50.5	50.25	0.00	50.5 ~ 51.5	51.00	+0.25	50.63	+0.13
LSA重油	50.0 ~ 50.5	50.25	0.00	51.0 ~ 52.0	51.50	+0.25	50.88	+0.13

油種	中京	中値	前日比	阪神	中値	前日比	油槽所中値	前日比
ガソリン	52.7 ~ 53.2	52.95	-0.25	53.2 ~ 53.7	53.45	0.00	53.51	-0.07
灯油	50.7 ~ 51.5	51.10	-0.30	52.0 ~ 52.5	52.25	+0.25	51.59	-0.01
軽油	49.8 ~ 50.8	50.30	0.00	50.5 ~ 51.5	51.00	0.00	51.30	+0.12
A重油	49.5 ~ 50.0	49.75	0.00	49.3 ~ 50.0	49.65	0.00	50.16	+0.06
LSA重油	49.8 ~ 50.8	50.30	0.00	49.8 ~ 50.5	50.15	0.00	50.55	+0.06

※前日比は中値ベース

※製油所の京浜中値は千葉・川崎中値の単純平均値

※4リム中値は千葉・川崎・中京・阪神製油所の単純平均値

※油槽所の京浜中値は八潮、横浜中値の単純平均値

※油槽所中値は八潮、横浜、中京、阪神の単純平均値

※ローリーラック価格、輸入採算価格、海陸市況格差、先物のガソリンはレギュラーが対象で揮発油税53.8円を含まず

※軽油は軽油引取り税32.1円を含まず

※中値は小数点第3位を四捨五入

※原油輸入平均CIF価格の r は修正

※為替は三菱東京UFJ銀行が午前10時30分に発表する数値を使用

◎東名阪製油所・油槽所出し中値平均値 (EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内)

油種	京浜地区	前日比	中京地区	前日比	阪神地区	前日比
ガソリン	53.54	+0.13	52.78	-0.07	53.35	0.00
灯油	51.10	0.00	51.05	-0.30	51.63	+0.05
軽油	50.98	+0.08	50.52	+0.37	50.73	0.00
A重油	49.91	+0.06	49.68	+0.10	49.55	0.00
LSA重油	50.29	+0.06	50.15	+0.05	50.05	0.00

◎その他の製油所・油槽所出しローリーラック市況 (EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内)

油種	北海道	中値	前日比	仙台・塩釜	中値	前日比
ガソリン	51.0～52.0	51.50	0.00	54.2～54.8	54.50	+1.40
灯油	51.2～52.2	51.70	-0.30	50.8～51.5	51.15	-0.50
軽油	51.0～51.5	51.25	+0.25	50.5～51.5	51.00	+0.70
A重油	50.0～50.5	50.25	+0.30	49.3～50.0	49.65	+0.10
LSA重油	50.5～51.0	50.75	+0.30	49.7～50.5	50.10	+0.10

油種	四国	中値	前日比	福岡	中値	前日比
ガソリン	52.6～53.6	53.10	+0.05	53.7～54.1	53.90	0.00
灯油	50.7～51.7	51.20	-0.15	52.0～52.4	52.20	-0.15
軽油	50.3～51.3	50.80	0.00	51.8～52.5	52.15	+0.10
A重油	49.5～50.0	49.75	+0.25	50.3～51.3	50.80	0.00
LSA重油	50.0～50.5	50.25	+0.25	50.8～51.8	51.30	0.00

◎SS向けスポット卸市況 (円/リットル、ローリー届け、1.0～1.5円運賃圏)

油種	京浜	前日比	中京	前日比	阪神	前日比
ガソリン	106.8～107.8	+0.3	107.5～108.5	0.0	107.5～108.5	0.0
灯油	51.0～52.0	0.0	52.1～53.1	0.0	52.0～53.0	0.0
軽油	82.0～83.0	0.0	82.8～83.8	0.0	83.5～84.5	0.0

◎ユーザー向け産業燃料油市況 (円/リットル、ローリー届け、1.5円以下運賃圏、大口向け、3月分)

油種	京浜	前日比	中京	前日比	阪神	前日比
灯油	51.5～52.5	0.0	52.0～53.0	0.0	52.0～53.0	0.0
軽油	80.3～81.3	0.0	81.0～82.0	0.0	82.0～83.0	0.0
A重油	49.5～50.5	0.0	48.5～49.5	0.0	49.5～50.5	0.0
LSA重油	50.0～51.0	0.0	49.0～50.0	0.0	50.0～51.0	0.0

※前日比は中値ベース

※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の京浜地区は製油所の京浜中値と油槽所の京浜中値の単純平均値

※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の中京地区は製油所の中京中値と油槽所の中京中値の単純平均値

※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の阪神地区は製油所の阪神中値と油槽所の阪神中値の単純平均値

※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の軽油は製油所の課税、未課税、油槽所の単純平均値

※SS向けスポット卸市況およびユーザー向け産業燃料油市況は揮発油税・軽油引取り税を含む

※中値は小数点第3位を四捨五入

◎東商取バージ先物(東京湾岸製油所・油槽所出しバージ取り、円/リットル)

ガソリン	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高	
4月限	53.84	53.87	53.29	53.29	-0.28	62	
5月限	54.08	54.08	53.63	53.63	-0.37	144	
6月限	53.93	53.99	53.46	53.46	-0.49	160	
7月限	53.49	53.92	53.49	53.82	+0.10	199	
8月限	53.02	53.50	53.02	53.14	+0.11	779	
9月限	52.07	52.74	52.07	52.69	+0.49	1,165	
合計						2,509	
灯油							
4月限	49.02	49.37	49.00	49.36	+0.47	30	
5月限	47.98	48.66	47.98	48.66	+0.60	49	
6月限	47.64	48.20	47.64	48.20	+0.68	36	
7月限	46.91	48.18	46.91	48.18	+0.85	98	
8月限	47.61	48.47	47.61	48.35	+0.80	681	
9月限	48.24	49.17	48.24	49.01	+0.80	802	
合計						1,696	
軽油							
4月限	-	-	-	46.00	0.00	-	
5月限	-	-	-	46.00	0.00	-	
6月限	-	-	-	46.00	0.00	-	
7月限	-	-	-	46.00	0.00	-	
8月限	-	-	-	46.00	0.00	-	
9月限	-	-	-	46.00	0.00	-	
合計						-	
原油							
3月限	38.95	39.33	38.82	39.28	+0.41	49	
4月限	38.88	39.34	38.86	39.28	+0.43	234	取組高 (2/28)
5月限	38.95	39.27	38.80	39.21	+0.48	401	ガソリン 売 7,986 買 7,986
6月限	38.71	39.19	38.71	39.15	+0.43	971	灯油 売 4,452 買 4,452
7月限	38.65	39.11	38.64	39.07	+0.42	5,042	軽油 売 0 買 0
8月限	38.60	39.05	38.60	39.02	-	1,201	原油 売143,243 買143,243
合計						7,898	1枚=50kl

◎東商取中京ローリー先物(潮見および飛島油槽所出しローリー取り、円/リットル)

ガソリン	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高	
4月限	53.90	53.90	53.90	53.90	+0.30	1	
5月限	-	-	-	54.00	0.00	-	
6月限	-	-	-	53.50	0.00	-	
7月限	-	-	-	53.10	0.00	-	
8月限	-	-	-	53.24	0.00	-	
9月限	-	-	-	52.11	0.00	-	
合計						1	
灯油							
4月限	49.15	49.15	49.15	49.15	+0.15	1	
5月限	-	-	-	48.05	0.00	-	
6月限	-	-	-	47.50	-0.49	-	
7月限	-	-	-	47.99	0.00	-	取組高 (2/28)
8月限	-	-	-	47.51	0.00	-	ガソリン 売 903 買 903
9月限	-	-	-	47.90	0.00	-	灯油 売 74 買 74
合計						1	1枚=10kl

◎輸入採算価格 (SR船型、韓国出し、関税・石油石炭税込、円/kl)

	北海道	前日比	京浜	前日比	中京	前日比	関門	前日比
ガソリン	53,536	-341	53,321	-342	53,105	-344	52,818	-345
灯油	54,133	-13	53,918	-14	53,702	-16	53,415	-17
軽油	55,004	+239	54,789	+239	54,573	+237	54,286	+236
A重油	49,802	+230	49,587	+229	49,371	+228	49,084	+226

※SR船型による輸入、A重油は免税ベース、軽油は硫黄分10ppm

※輸入採算価格はリムアジア製品レポート掲載のシンガポール市況(ペーパー)をベース

◎海陸市況格差 (陸上4製油所平均-海上バージ市況)

ガソリン	-1.26	灯油	+1.18	未課税軽油	+0.59
A重油	+0.66	LSA重油	+0.94		

※4製油所平均=千葉、川崎、中京、阪神

◎指標原油

WTI (NYMEX 4月限, \$/bbl, 2/28 close)	54.01	-0.04
WTI (NYMEX ACCESS 4月限, \$/bbl, 3/1 5:00pm 東京時間)	53.81	-0.20
ドバイ (ペーパー Swap, \$/bbl, 3/1 東京夕刻)	55.00 ~ 55.04	unch.
ドバイ (ペーパー Swap, 円/kl, 3/1 東京夕刻)	39,511	+211
ドバイ (ペーパー Swap, 円/kl, 2/23~3/1平均)	39,282	-24
ドバイ (ペーパー Swap, 円/kl, 2/15~2/21平均)	39,048	+83
東商取ドバイ原油当限 (円/kl, 3/1 引け)	39,280	+410

◎原油輸入平均CIF価格 (JCC、円/kl、財務省)

16/12/01-31 33,184	17/1/01-31 39,043	17/2/01-28 3月22日発表予定
16/12/01-10 33,392	17/1/01-10 37,632	17/2/01-10 39,186
16/12/11-20 32,717	17/1/11-20 39,213	17/2/11-20 3月8日発表予定
16/12/21-31 33,385	17/1/21-31 39,778	17/2/21-28 3月22日発表予定

◎Rim JCC予想値 (円/kl)

17/2月 39,160 ±0	17/3月 39,970 +280	17/4月 40,750 +770
-----------------	-------------------	-------------------

◎概況・トッパー停止状況=1基・停止率=0.0%
○陸上ローリー市況

1日の東名阪製油所出しはガソリンは小幅続伸。価格改定のタイムラグで市場に残った割安玉が姿を消したため、全体的に底上げされた。一方、灯油は冴えない。京浜はもち合ったものの、中京と阪神は下振れ。買い気の後退で販価を見直す卸業者も散見された。

仕切り関連では、JX エネルギーが3月第2週分の系列向けガソリン価格を前週比1円引き上げた。中間留分でも軽・重油はガソリン同様に1円引き上げたものの、灯油は1円引き下げた。一方、出光興産はガソリンを同2円、軽・重油を同1円引き上げ、灯油は据え置かれた。

○ドバイ原油市況

ドバイ原油価格は東京時間の1日夕刻時点で前日並みの55.00~55.04ドル。これを基にした製品コストは同比0.2円高の43.2円(石油石炭税込み)と試算される。原油価格がもち合ったにも拘わらず製品コストが上昇するのは、為替がドル高・円安に振れた影響が大きい。足元の原油、為替水準で推移した場合、4月の国内製品コスト推定値は2月27日~3月24日算定で3月平均値の42.7円より約0.5円高い43.2円となる見込み。一方、1日の製品輸入コストはガソリン、灯油が下落、軽油、A

重油が上昇となった。

○元売り市中調達

1日の買付けは浮上しなかった。ただし、京浜では外資系元売りがガソリンと軽油を手当てした形跡もある。複数の市場関係者が明らかにした。

○在庫

石連がまとめた2月25日時点の在庫は、全国ベースでガソリンが前年比1.0%増の171万857kl、灯油が同8.8%増の141万7,857kl、軽油が同4.8%増の160万8,474kl。

◎北海道(苫小牧・石狩)

○概況

スポット流通玉市況は灯油が反落し、軽油と重油が続伸した。いずれの油種ともに、本州の実勢水準の推移を視野に複数が価格を見直した。一方、ガソリンはさらにコスト転嫁する卸業者が増えたものの、3日期限で安値玉が残存。他の地域と異なり、上値の重さが露呈している。

札幌の1日の16時までの気温は、最低がマイナス1.1度、最高が6.7度。積雪は74センチ。全道的に真冬日が解消され、日中の気温は軒並みプラスとなっている。

○ガソリン

51.0～52.0円（揮発油税込み104.8～105.8円）と前日から横ばい。

民族系元売り2社の週次仕切り改定が引き上げとなり、本州の実勢水準も上昇。加えて、既報どおり、ディーラーによっては出し元から販売枠を削減されている。このため、民族系元売り玉を扱う複数が107.5～108.3円など、28日比で2円前後のコスト転嫁に動いた。ただし、苫小牧出しの在庫玉、および旧米メ

ジャー系元売り玉では3日期限で104.8～105.8円など、105.0円を挟んだ価格帯の売り物が残存しており、業者間で交わされていた取引は同水準が専ら。一部は104円台前半の取引も散見。前述の107.5円を超える水準の玉に対する買い手の追随はなかった。同水準であれば、自社玉、および系列対比で小幅安、同等となるため、他社調達を避けている。

○灯油

51.2～52.2円と前日比0.3円安。

2～8日期限では、在庫玉、および民族系元売り玉を扱う卸業者が苫小牧出しで51.2～51.8円など、51.5円台中心の売唱え。石狩出しは苫小牧比0.5円前後高が主流。これらの背景には、本州の3月商談スタートが軟調だったことや民族系元売り2社が2日から適用

する週次仕切りが引き下げ、据え置きとなったことがある。一方、外資系元売り玉を扱う卸業者は苫小牧出しで52.5～53.0円、52円台後半の売唱えを維持。ただし、他のスポット玉に比べて相対的に割高で、業者間で売買対象としている向きはほぼ皆無だった。

○軽油

51.0～51.5円と前日比0.25円高。

2～8日期限では民族系元売り玉を扱うデ

ィーラーは、苫小牧出しで課税、未課税玉を問わずに51.0～51.5円など、51円台前半の売

唱えが主流。石狩出しが苦小牧比0.5円前後。
28日の時点で価格提示を見送っていた卸業

者も、同価格帯で探っている。

○重油

A重油は50.0～50.5円と前日比0.3円高。
2～8日期限では、A重油は民族系元売り玉を扱う卸業者が50.0～50.3円など、50円台前半までコスト転嫁。石狩、LSA重油が0.5円前後高が主流。

外資系元売り玉を扱う卸業者は51.5～52.0円と一段高の売唱えで、動意付いている様子はなかった。

◎東北

○概況

仙台、塩釜のスポット価格は、ガソリン、軽油、重油は続伸、灯油が反落となった。先行指標で灯油だけが下げ通知だったことを映した。また、ガソリン、軽油は出し元から月次枠の削減幅が大きいため、市場の浮遊玉が少ないとの指摘が聞かれた。

○ガソリン

54.2～54.8円（揮発油税込み108.0～108.6円）で前日から1.4円高に続伸。

仙台、塩釜では値上げが相次ぎ、2日以降は108円台の唱えが主流になった。塩釜で107円台後半の出物が噂されるものの、手当てできる先は限られるようだ。地場ディーラーは108円台前半に値上げ。仙台では広域ディーラーが108円、大手ディーラーが108.3円の唱え。別の広

域ディーラーは108.6円など108円台半ばの提示もあった。各社とも手持ち枠が少ないとの指摘もあり、価格の提示を見合わせるディーラーも少なくなかった。

郡山では108円台前半が広域ディーラーから提示されている。

○灯油

50.8～51.5円で前日から0.5円安に反落。

仙台、塩釜では、先行指標で値下げが通知されたことに加え、3月に入ったことで改めて需要期明けが意識され、総じて弱含み。仙台では、広域ディーラーが51.1円のほか、民

族系最大手元売り玉の扱い業者は51.5円に値下げ。高値では、54円台の提示もあるが、月初で高値を買い付けるディーラーはいないという。塩釜では、地場ディーラーが50.8円を提示した。

○軽油

50.5～51.5円で前日比0.7円高に続伸。

ガソリン同様、各ディーラーの月次枠削減が大きいとの指摘が聞かれ、課税、未課税玉とも唱えが切り上がった。卸業者間では、価格提示を見送るディーラーもいる。仙台の未課税玉は、広域ディーラーが51.5円のほか、高値では52.5円、53.5円の提示も出ている。

課税玉では、51円前後が多く、広域ディーラーで50.5円、50.7円、51.2円の唱え。塩釜では、地場ディーラーが51円だが、大手筋は51円台半ば～後半など。ただ、末端向け価格がEXベースで49円割れなど前月から横ばいで推移しているため、届け取引の底上げが急務との指摘は多い。

○重油

A重油は49.3～50.0円、LSA重油は49.7～50.5円で前日から0.1円高となった。

仙台のA重油は、民族系最大手元売り玉の扱い業者や商社系ディーラーが50円に値上げ。広域ディーラーは50.2円など、一部に49円台後半が残るものの、50円台の唱えが増えた。塩釜では、大手ディーラーは51円だが、

地場ディーラーが49.3円を週内を期限に提示しており、下限価格は変わらなかった。

産業燃料向けは、LSA重油で食品メーカー向けに仙台工場が届け49円台後半で落札された。また、樹脂メーカー向けに福島県下の工場向けに、届け50円台半ば～51円で落札された。

◎京浜

○概況

スポット流通玉市況は小動き。製油所出しのガソリンが続伸し、横浜の軽油、重油が強含んだ。製油所出しのガソリン、および横浜の軽油と重油は28日時点で流通していた安値玉が払拭され、手当て可能な水準は底上げされた。全般的に業者間の取引は閑散としている。既報どおり、3月の販売枠が削減、もしくは確定していないため、積極的な受注意欲を示す卸業者は限定される。実質売買に参戦せず、様子見姿勢を取っている向きが多い。ガソリン取引が低調なのは系列対比で同等または割高に映ることも一因。

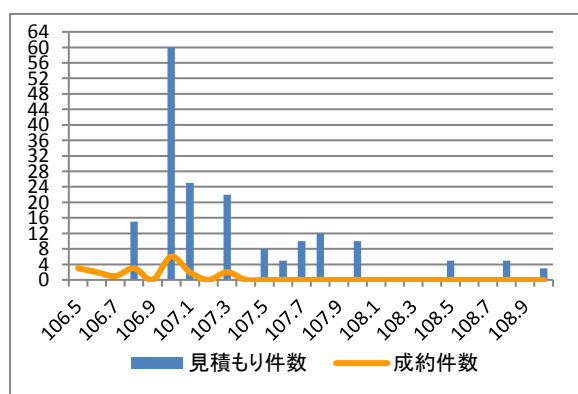
○ガソリン

製油所出しは続伸。前日比0.25円高の53.0～53.5円（揮発油税込み106.8～107.3円）となった。一方、油槽所出しは東京・埼玉が53.7～54.2円（同107.5～108.0円）、横浜が53.2～54.2円（同107.0～108.0円）と前日から横ばい。

製油所出し、油槽所出しともに、全般的に動意薄の商況。動意付いているのは安値玉に限定されるものの、これらの実勢水準は底上げされた。28日時点で流通していた安値玉が消えたことが主因だ。

製油所出しでは、引き続き、旧米メジャー系元売り玉を扱う卸業者が先導しており、これに民族系元売り玉を扱う卸業者が追随している。2～3日期限ではいずれの玉を扱う複数が106.8～107.3円など、107.0円を中心に買い気を探っていた。28日時点では106円台前半の玉が見受けられたが、有力ディーラーの一角は28日比で0.5円の値上げに動いたため、これらの玉は3月入り後、ほとんど姿を消した。一方、外資系元売り玉、中堅元売り玉を扱う卸業者は総じて一段高の売唱えに

徹して、実質商談に参戦していないケースが多い。このうち、外資系元売り玉を扱う複数が107.0～108.0円、中堅元売り玉を扱う複数が108.0～109.0円など、多くが3日期限の売唱えを維持している。JOX市場では107.3円の成約が複数浮上していた。



油槽所出しは、東京・埼玉、横浜ともに前日から目立った動きはなかった。

SS届けベースのノンブランド・ガソリン卸市況は、1.0～1.5円運賃圏で106.8～107.8円へと上昇。

東商取4月限は前日比0.28円安の53.29円

(揮発油税込み107.09円)京浜の海上市況は54.0~54.8円(同107.8~108.6円)となった。

小売市場では1日、世田谷区、杉並区の環八通り、甲州街道沿いの主流表示は123~128円。先週比4~5円高で推移している。卸価格

の上昇、出し元各社の週次仕切り改定引き上げを受け、3月入り後、値上げするSSが増勢。八幡山の旧米メジャー系元売りの有力系列店が123円の現金看板を掲げている。実売は元売りカードで2~3円引きで給油が可能。

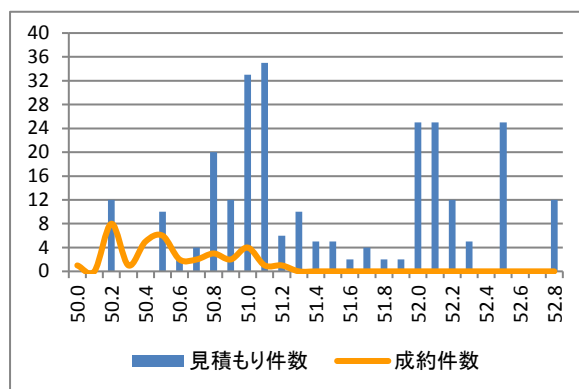
○灯油

製油所出しは50.2~51.2円、油槽所出しは東京・埼玉、横浜ともに51.0~52.0円といずれも前日から横ばい。

製油所出し、油槽所出しともに、前日から目立った動きはなかった。需要期の終盤を迎え、すでに先月末までに取引を終えている業者が多い。先物価格が逆ザヤである上に、今後の実需が後退することを視野に入れて先手で受注を取り込む動きが強い。

製油所2~3日期限で各社の売唱えは膠着。中堅元売り玉、外資系元売り玉を扱う複数は50.2~50.8円、51.0~51.5円など、対応が分かれた。旧米メジャー系元売り玉を扱う複数は51.0~52.0円、52.5円以上など、ディーラーによって売唱えはまちまち。民族系元売り玉は50.8~51.3円。民族系最大手の鹿島出荷玉を扱う複数が51.0~51.5円など、51円台前半のままだった。引き続き、業者間の取引では冒頭の中堅元売り玉、外資系元売り玉をベースに、50.5円を挟んだ価格帯で複数が取引

を進められた。一方、旧米メジャー系元売り玉では、ガソリンが価格面で割安なため、混載の端数取引を中心に51円超えで取引が進んでいるケースもあった。



油槽所出しは、東京・埼玉、横浜ともに前日から目立った変化はなかった。

東商取4月限の帳入値は前日比0.47円高の49.36円。また、京浜の海上市況は49.3~50.2円。

○軽油

製油所出しは課税軽油が49.5~50.5円、未課税軽油が50.7~51.3円。油槽所出しは東京・埼玉が50.4~51.4円といずれも前日から横ばい。一方、横浜は前日比0.5円高の52.5~53.5円へと上昇した。

総じて動意薄の様相で、業者間の取引は停滞している。横浜油槽所を除き、各社の売唱えに変化がなかった。

製油所出しの課税玉は2~3日期限で、外資系元売り玉、中堅元売り玉をベースに、各社の売唱えは49.5~50.5円、もしくは51.0~

51.5円など。旧米メジャー系元売り玉を扱う複数は50.5~51.0円など、50円台後半中心。民族系元売り玉は49.5~50.5円など、50.0円を挟んだ売唱え。民族系最大手の鹿島出荷玉は一段高の52円前後の売唱えのままだった。

未課税玉は2~3日期限で外資系元売り玉を扱う複数は50.7~51.3円など、51.0円中心。旧米メジャー系元売り玉を扱う複数は51.0~51.5円など、51円台前半。一部、特徴義務者向けの売買では、50.5円前後のオファーも散見されたが、取引に進展している様子はない。

かった。前日に続き、JOX市場では126klが51.5円で成約。複数元売りの市中調達であると示唆したが、詳細は判然としなかった。ただし、上述のようにこれらの取引を除き、多くは売買に参戦せずにマーケットチェックや様子見に徹する向きが大勢だった。

油槽所出しでは、東京・埼玉の広域、地場

ディーラーによる売唱えは3日期限で、課税玉が50.5円前後～51.0円、未課税玉は51.4円。横浜はタンク筋が2日分から53.5円の売唱えしたが、買い手の追随は見受けられなかった。

東商取4月限の帳入値は、前日から横ばいの46.0円。京浜の海上市況は50.0～51.0円。

○重油

LSA重油の製油所出しは49.2～50.2円。油槽所出しは東京・埼玉が50.0～50.5円ともち合った。一方、横浜は前日比0.25円高の51.0～52.0円と切り上がった。

製油所出しでは、2～3日期限で実勢水準にほとんど変化はない。中堅元売り玉、外資系元売り玉をベースに複数が49.2～49.8円など、49.5円を挟んだ売唱えを維持。旧米メジャー系元売り玉を扱う複数が49.5～50.0円、もしくは50.5円前後など、前日に比べてディーラーの対応に変化が見受けられた。民族系最大手の鹿島出荷玉を扱う複数は一段高の50円台前半～後半など、50.5円中心の売唱え。ただし、価格提示を見送り、実質取引に参戦

していないディーラーが複数。これは2月には見受けられなかった動きで、ガソリンと同じく、ディーラーによっては販売枠が削減、もしくは確定していないケースがあるようだ。A重油はLSA重油対比で0.5円前後安が主流。

油槽所出しは広域、地場ディーラーによる売唱えは東京・埼玉が50.0～50.5円、横浜が51.0～52.0円。このうち、横浜では52円以上の売唱えも散見され始めた。仕入れのベースとなる海上市況が48円台後半で上向きつつあり、陸揚げを視野に入れて値取りを優先させている。

◎中京

○概況

製油所、9号地出し灯油が反落。買い気の後退を受け、高値が敬遠された。ガソリンは製油所出しが小幅続伸する一方、9号地は反落。

元売り関連では、JX エネルギーが3月第2週分の系列向け仕切り価格ガソリン、軽油、重油を前週比1円引き上げ、灯油を同1円引き下げた。出光興産はガソリンを同2円、軽・重油を同1円引き上げ、灯油は据え置いた。

○ガソリン

製油所出しが前日比0.1円高の52.2～53.0円(揮発油税込み106.0～106.8円)、9号地は同0.25円安の52.7～53.2円(同106.5～107.0円)。

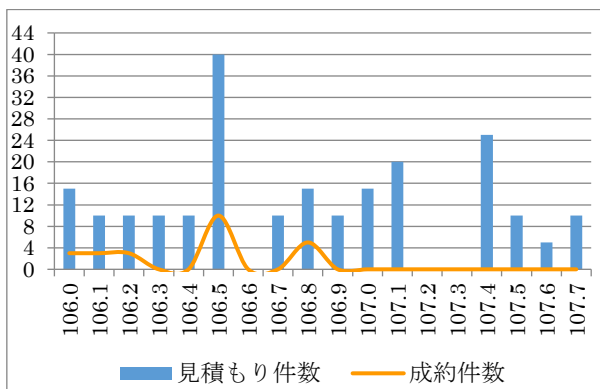
製油所出しは小幅続伸する一方、9号地は反落。製油所出しは価格改定のタイムラグで残った割安玉が吸収され、底上げが進められた。商社系ディーラー玉を取り扱う広域系卸

業者から106円台の売唱えが伝えられ、105円台の出物は姿を消した。外資系元売り玉をベースとする広域系から提示された売唱えは106.0～106.5円、さらに106.7円などが新規で寄せられた。

民族系元売り玉や旧米メジャー系元売り玉を知り扱う広域系からは107円台の売唱えも寄せられたが、すでに仮需も一巡しており、

積極的な買い気は浮上せず。旧米メジャー系元売り玉取扱い業者が3日まで提示する106.8円に対し、小口のオーダーが散見された程度だった。「107円台では市場の反応が薄い」（複数の広域系）。

トコムスポット市場では、外資系元売り出荷地20klを対象に翌日渡し107.1円の売りが提示されたが、前日同様に買い手の反応はなかった。



9号地は反落。大手タンク業者は107.5円の販価を維持した。ただし向け先である程度の値下げ対応も見え隠れ。商社系ターミナルでは、広域系の一角から106.5円の売唱えが伝えられたほか、丸中ターミナルや旧米メジャー系ターミナルを含め、複数の広域系から106.5円、106.7円、107円などの売唱えが拡がった。107円台前半から半ばの売唱えも複数残ったものの、積極的にやり取りを進めた形跡は見られなかった。製油所玉同様、仮需一巡で買い意欲は後退気味という。

中京ローリー4月限は前日比0.3円高の53.9円(同107.7円)で日中取引を終えた。出来高は10kl。

京浜海上市場は108円台前半に上伸。民族系最大手元売りは東西で市中調達を進めたようだ。市場関係者によると、買値は109円近くだったという。

○灯油

製油所出しが前日比0.3円安の50.5~51.5円、9号地も同0.3円安の50.7~51.5円に軟化。

両センターともに精彩を欠いた。民族系最大手元売りの仕切り引き下げを受け、先高期待は薄れたようだ。

製油所出しでは、需要期から徐々に外れことで、早めの玉捌きを意識する広域系から外資系元売り玉をベースに50.5円、50.6円、51円などの売唱えが伝えられた。1日にひとまず値上げし、販価を再度見直す動きも表面化。民族系最大手元売りが2~8日分の系列向け仕切り価格を1円引き下げたことも、先高意識の後退につながったようだ。1~3日対応分として提示した51.0~51.5円の残るなか、51.5~52.0円に販価を設定した広域系からは買い手の反応をみながら柔軟に対応する動きも見受けられた。

商社系ディーラー玉を取り扱う広域系も52円前後の販価を51.5円に引き下げ、市場の反応を見たようだ。

愛知方面では、民族系最大手元売り玉を織り込んだ広域系から51.7円や51.8円の売唱えが寄せられたが、やや割高とされ、市場の反応は薄かった。

9号地は続落。大手タンク業者は様子見し、52.5円の販価を据え置いたものの、市場では割高と見られ、関心は薄かったようだ。広域系からは商社系ターミナルや旧米メジャー系ターミナルで51円や51.5円の売唱えが散見されたほか、先物納会価格を意識した50.7~51.0円の売買アイデアなども寄せられ、市況を形成した。

中京ローリー4月限は前日比0.15円高の49.15円で日中取引を終えた。出来高は10kl。官公需入札では、三重県が先月22日に開札した農業研究所向け3月納め小口は届け62円で落札された。また、同23日に開札された中津川市民病院向け3月納めはど52.9円、同じく23日開札の富山市民病院3月納入98klは同53で落札された。

○軽油

製油所出し課税玉は前日比0.5円高の49.5～50.5円、未課税玉も同0.6円高の51.0～51.5円、9号地は変わらずの49.8～50.8円。

製油所出しが続伸。旧米メジャー系元売りの二段階値上げなどを織り込んだ。

製油所出し課税玉は、前日に散見された49円前後のやり取りはほぼ姿を消し、2～3日対応分として外資系元売り玉で49.5～50.0円、旧米メジャー系元売り玉を組み入れた売唱えとして50.5～51.0円などが散見された。愛知方面からはやや高めの売唱え51円台が伝えられた。足元では先高材料に欠けるため、値上げに懐疑的な声も寄せられたが、一方では元売りの販売政策を見直すところもあり、踏み込んだ拡販玉の出回りはほとんどない。

未課税玉も底上げ。特徴義務者向けに提示

された売唱えは2～3日分で51円割れが休止され、旧米メジャー系元売り玉を取り扱う広域系から51円、外資系元売り玉や商社系ディーラー玉を得意とする広域系から51.3～51.5円の売唱えが寄せられた。愛知方面では51円後半と前日からほぼ同水準。

9号地は変わらず。大手タンク業者や広域系各社ともに目立った価格改定は表面化しなかった。未課税玉を取り扱う大手タンク業者の売唱えは51.0～51.5円、別の広域系も51円前後のまま。一方、課税玉を取り扱う広域系は、旧米メジャー系ターミナルの49.8円をボトムに、各出荷地で50円台の売唱えが複数残った。

船舶動静では、四日市港に2月28日入港した「LOTUS SAMBU」は約6,000klの軽油を積み、韓国に向けて2日出港する。

○重油

製油所出しLSA重油は前日比0.1円高の49.6～50.4円、9号地は変わらずの49.8～50.8円。

製油所出しが小幅ながら続伸。価格改定のタイムラグで残った安値玉が底上げされた。外資系元売り玉をベースとする広域系卸業者間では49.6円や49.8円など売唱えが残ったものの、49.5円以下はおおよそ姿を消した。

一方、1日限定で販価を設定した広域系からは2日以降の売唱えとして、外資系元売り玉や商社系ディーラー玉などを組み合わせた50.0～50.4円などの売唱えが新たに寄せられた。愛知方面でも民族系最大手元売り玉を取り扱う広域系が50円や50.4円が伝えられ、市況の一端を形成。四日市玉ベースで51円前後の売唱えも散見されたが、関心を示す市場関係者はほぼ皆無だった。

9号地は前日から変わらず。大手タンク業者は様子見し、販価は50.5～51.0円で柔軟に対応中。商社系ターミナルで50円前後、旧米メジャー系ターミナルで49.8～50円台などの売唱え

が残り、昨日同様に市況を形成した。

A重油はLSA重油に対し、両センターともに0.4～0.5円の価格差で推移。

官公需入札では、海上納入案件として先月20日に中部地方整備局の清龍丸向けA重油194klが届け49.9円、22日に三重県立水産高校実習船向け150klが同68円でそれぞれ落札された。納期はいずれも3月中。納入場所は前者が名古屋港、後者が志摩大橋高架下係留所。

一方、陸上向けでは、23日開札の富山県立中央病院LSA重油157klは不調となり、1番札の52.3円をベースとした随意契約となりそう。また、23日には中津川市民病院向けLSA重油が同51.7円でまとまったようだ。いずれも3月納入分。

そのほか、1日開札された防衛施設庁向け3月末納入案件は、春日井駐屯地向け20klが同51.7円、久居駐屯地向けLSA重油12klが同50.8円でまとまった。

製油所出しは灯油が軟化。需要の後退懸念から手持ちの消化売りが進められており、相場の圧迫要因となっている。先物相場が依然として現物対比で割安なことも足元での売りを後押ししている。一方、その他の油種はもち合い。様子見ムードが強く、卸各社とも販価の改定をレンジ内での調整に留めていることから取引可能な水準は変わらなかった。

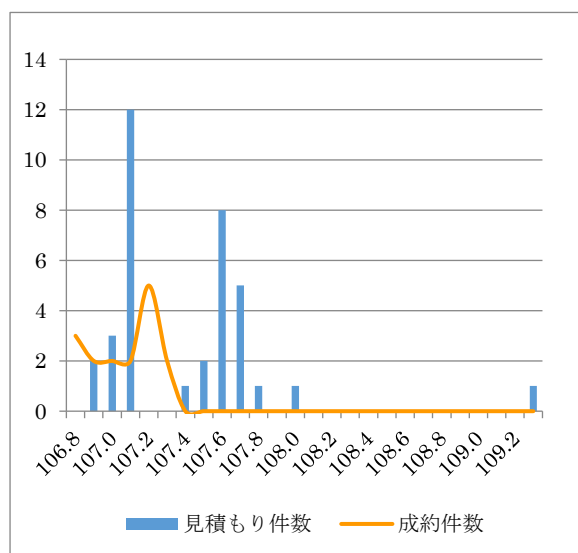
○ガソリン

製油所出しが前日から横ばいの53.0～53.5円(揮発油税込み106.8～107.3円)、油槽所出しが同横ばいの53.2～53.7円(揮発油税込み107.0～107.5円)。

製油所出しでは、取引可能な水準は変わらず。月初とあって系列に回帰する向きも多く、スポット市場での動意は薄かった。販価を小幅に調整する動きがみられたものの、相場に影響はなかった。

旧米メジャー系元売りルートから仕入れるディーラーが106.8円で唱えを継続し、オーダーを確保した。同元売り玉を扱う別の有力ディーラーも106.8～107円台前半まで対応し、オーダーを確保したようだ。多様な仕入れを持つ広域ディーラーは小幅に販価を下方修正し、107円前後で唱えた。一方、旧米メジャー系元売り玉の大手取扱いディーラーは107円前後まで販価を引き上げた。小幅な価格調整の動きはみられるものの、概ね前日のレンジ内での値動きに留まったことから相場への影響はなかった。旧米メジャー系元売り玉を扱う広域系、地場系ディーラーは107円前後～107.3円でオーダーを集めていた。TOCOMウィンドウ上では、東燃ゼネラル石油(TG)の堺製油所出しTGルート指定玉10klが107.2円で成約された。これに対し、多様な仕入れを持つ広域ディーラーは107.4

～108円前後、外資系元売り玉の取扱い複数ディーラーは107円台半ば、民族系元売り玉の取扱い大手は107円台後半で買い気を探したが、買いの手はつかないままだった。



油槽所出しでも目立った動きがみられず、取引可能な水準は変わらなかった。大手タンク業者も販価を据え置き、様子見に徹している。櫻島油槽所出しは107～107.5円で取引可能だ。TOCOMウィンドウでは、櫻島油槽所出し10klが106.8円で取引された。ただ、実際に手当て可能な業者は多くなく、広がりは限定的だ。

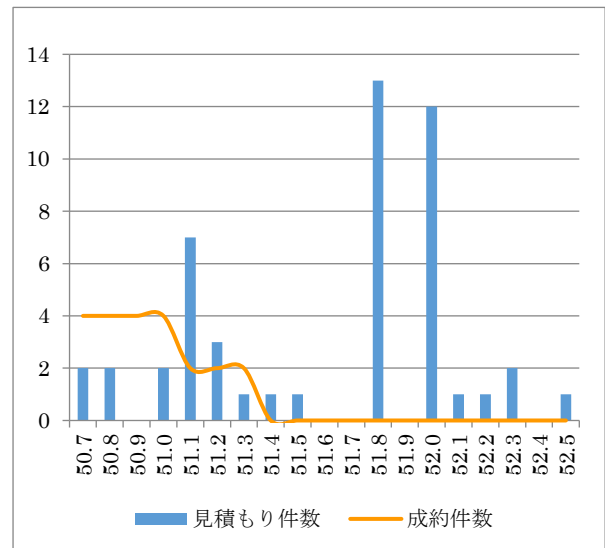
○灯油

製油所出しが前日から0.15円安の50.7～51.3円、油槽所出しが同0.25円高の52.0～52.5円。

製油所出しでは、先安を織り込んだ売りが先行し、相場を小幅に押し下げた。月間平均玉を消化する動きが目立った。需要の最盛期が過ぎたことから徐々に需要が低下するとの見方も売りを後押ししているもようだ。

多様な仕入れを持つ有力ディーラーの一角が50.7～51円前後で売り唱え、オーダーを集めた。複数の元売りルートで月間平均玉を放出した。これに触発され、外資系元売りなど多様な仕入れを持つディーラーも50.7円まで踏み込み、オーダー確保に動いた。さらに、複数の仕入れを有する大手ディーラーの一角も50.7円まで対応する動きが目についた。こうした動きにつられる格好で、旧米メジャー系、外資系両元売りルートから仕入れるディーラーが51円前後～51.3円まで販価を引き下げた。また、民族系元売り玉を扱うディーラーも51円前後まで値下げし、売り込みを仕掛けた。旧米メジャー系元売り玉を扱うディーラーは51円前後～51.3円でオーダーを集めたようだ。51円台半ばで提示した民族系元売り玉、四国の中堅元売り玉を扱うディーラーは、買い手の反応が鈍いことから途

中で販価の下げ改定を行い、51円前後まで対応した。一方、外資系元売り玉を扱う大手ディーラーや旧米メジャー系元売り玉の取扱い大手など51円台後半～52円台前半で提示する向きもあるが、買い手はつかないままといい。



油槽所出しでは、原油、先物相場の上昇を受け、安値玉が一旦後退、相場が小幅に押し上げられた。櫻島油槽所出しは52～52.5円で取引可能となっている。

○軽油

製油所出し課税玉が前日から横ばいの49.7～50.5円、未課税玉が同横ばいの50.7～51.5円、油槽所出しが同横ばいの50.5～51.5円。

製油所出しでは、動意が薄く、取引可能な水準は変わらず。ガソリン同様に小幅に販価の調整が行われたが、市況に影響はなかった。

課税玉市場では、多様な仕入れを持つ大手ディーラーが49.7円以上で売り唱えた。これに続き、民族系元売り玉、四国の中堅元売り玉を扱うディーラーが50円切れの唱えで追

随している。旧米メジャー系元売り玉を扱う広域系、地場系ディーラーは50円台前半～50.5円でオーダーを集めた。多様な仕入れを持つ広域ディーラーが50.6～51円台前半、民族系元売り玉を扱うディーラーは51円前後、有力地場ディーラーは51円台半ば、外資系元売り玉の取扱い大手は52円台後半でそれぞれ売り唱えるが、買い付ける業者はみられなかった。

未課税玉市場でも動きがなく、取引相場は前日水準を維持。多様な仕入れを持つ大手デ

イーラーや、外資系元売り玉の取扱い大手、旧米メジャー系元売り玉を主に扱う商社系、広域系ディーラーが50.7～51.5円で唱えを継続しており、これが引き続き相場を形成している。民族系最大手元売り玉の取扱い大手、外資系元売り玉を扱う大手ディーラーなど51円台後半まで対応する向きもあるが、競合他社玉と比べ依然割高に映っているようだ。

なお、50円台半ば以下の売り物も引き続き残っているが、前日から広がった形跡はみられなかった。

油槽所出しでも目立った動きがみられず、取引可能な水準は変わらず。大手タンク業者を始め、在庫を扱う業者は様子見に徹している。櫻島油槽所出しの課税玉、未課税玉は50.5～51.5円で取引可能だ。

○重油

A重油は製油所出しが前日から横ばいの49.1～49.8円、油槽所出しが同横ばいの49.3～50.0円。LSA重油は製油所出しが同横ばいの49.6～50.3円、油槽所出しが同横ばいの49.8～50.5円。

製油所出しでは、販価の上げ下げが交錯するも、前日の相場レンジ内での価格調整に留まったため、取引可能な水準自体に変化はなかった。A重油では、外資系元売り玉などを扱うディーラーが49.1円以上に価格を設定し、オーダー確保に動いた。旧米メジャー系元売り玉なども扱う大手ディーラーは49円台前半で提示し、買い手の反応をうかがった。

多様な仕入れを持つ広域ディーラーは49円台半ば～後半で提示。小幅に販価を値下げ調整している。また、旧米メジャー系元売り玉を扱う商社系、広域系ディーラーは49円台半ば～49.8円で唱えを据え置いた。一方、民族系最大手元売り玉を扱う広域ディーラーや、民族系元売りルートから仕入れるディーラー、外資系元売り玉を主に取り扱う大手ディーラーなど50円前後～50円台後半で唱えを継続する向きもあるが、買い手の反応は鈍いままだ。

LSA重油も動きはみられず、相場に変化はなかった。

◎四国

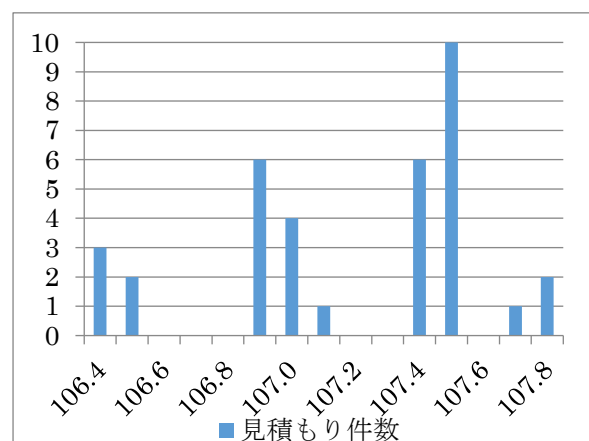
○概況

スポット価格はガソリンと重油が続伸。JXエネルギーが2～8日出荷分に適用する先行指標価格を1円ずつ引き上げた影響が大きい。スポット価格のうち灯油は反落。同元売りによる先行指標価格の1円引下げが嫌気された。荷余り感の強さも相場の重しになっている。

○ガソリン

前日比0.05円高の52.6～53.6円（揮発油税込み106.4～107.4円）。

スポット価格は小幅続伸。民族系最大手元売りによる先行指標価格の引上げが意識された。海上スポット市場の堅調ぶりも強材料視されている。坂出では106.5円の売り込みがあった。民族系元売り玉とみられる。同ルートでは106.9円の打ち出しもあった。106.9円の売唱えは外資系元売り玉をベースに販価を算出する卸業者からも聞こえる。また他



社玉を担ぎ107～107.4円程度で打ち出すディーラーもいた。107.5円以上の売り物も多くあったが、買い手には割高と指摘される。

菊間では106.4円の玉が見積もりベースで調達可能。四国の中堅元売りルートとされている。

届け取引の価格は香川県下のディーラー

向けがEXパイプ換算で106円台半ば以上と伝えられた。

小売り市況は丸亀市のセルフ店が店頭表示122円程度、実売120円程度になっている。足元では仕入れコストの増加を織り込み、値上げの気配もあるという。

○灯油

前日比0.15円安の50.7～51.7円。

スポット価格は反落。民族系最大手元売りによる先行指標価格の引下げを映した。需要期の終わりが見えている中、売りを優先し販価を下げる卸業者も散見される。坂出では多様な仕入れをもつ卸業者が50.7～50.8円の販価を提示。民族系最大手元売り玉を扱うディーラーも50.8円で売り唱えた。外資系元売りとされるルートでは51～51.7円の範囲で各卸業者の見積もりはまちまちだった。さら

に高い見積もりも出回っているが、活発に売買された様子はない。50.7円割れのやりとりもあったが、実際に調達可能な買い手は限られている。一方、菊間では四国の中堅元売り玉を扱う卸業者から51.7円で売り込みがあった。

届け取引の価格は香川県下のディーラー向けがEXパイプ換算で50円台前半以上となっている。

○軽油

前日と同じ50.3～51.3円。

スポット価格はもち合った。民族系最大手元売りによる先行指標価格の引上げを受け、値上げに動く卸業者があった一方、前日から3日期限の売り物も残存しており、主流の商談水準に変化はなかった。坂出の課税玉では外資系元売りとされるルートで50.3～50.4円の唱えが聞こえる。別のルートでは50円台半ば～51円の打ち出しもあった。50.3円未満の打ち出しもあったが、実際に調達可能な買い手は限られている。未課税玉は民族系最大

手元売り玉とされる売り物が50円台後半～51円で手当てが可能。外資系元売り玉を扱うディーラーからは51円程度の見積もりも聞こえる。一方、菊間では未課税玉が51円台後半で売られているが、活発に商談された形跡はなかった。

届け取引の価格は香川県下のディーラー向けがEXパイプ換算で課税玉の場合50円台前半以上、未課税玉の場合51円台半ば以上と伝えられた。

○重油

A重油が49.5～50.0円、LSA重油が50.0～50.5円といずれも前日比0.25円高。

スポット価格は続伸。民族系最大手元売りによる先行指標価格の引上げを受けた。LSA重油については、一部元売りの出荷制限が地

合いを強めた可能性も指摘される。坂出、菊間ではA重油が49.5～50円、LSA重油が50～50.5円で手当て可能。これらの水準以外の見積もりも出回っているが、積極的な商談は聞こえていない。

届取引の価格は香川県のディーラー向けがEXパイプ換算でA重油の場合49円台前半以上、LSA重油の場合49円台後半以上となっ

ている。また産燃向けについては、香川県の大手食品工場向けのLSA重油が届け49円台半ばと伝えられた。

◎九州

○概況

スポット市況は小動き。先行き相場に不透明感があるなか、卸業者のほとんどが様子見姿勢を取っている。このため、商談、荷動きともに大きな動きが見られなかった。他の売り手よりも割高、割安な唱えを提示していた卸業者が唱えを修正する動きがあったものの、相場に目立った変化は見られなかった。

JXエネルギー、出光興産の民族系の手元売り2社は、灯油を除く全油種で仕切り価格を引き上げた。2日に東燃ゼネラル石油が通知する外販向け仕切り価格についても、引き上げが予想される。

○ガソリン

前日と同じ53.7～54.1円(揮発油税込み107.5～107.9円)。

スポット市況は持ち合い。ほとんどの卸業者が前日と同水準の価格を提示しており、市況に大きな変化は見られなかった。西戸崎や荒津、東浜では、引き続き107.5～107.9円が複数の広域ディーラーから提示されている。一方、前日まで108円台前半～半ばを提示し

ていた卸業者の中には、価格を下方修正し、107円台後半～108円前後を提示する動きもあった。ただ、相場の先行不透明感から108円台半ばで模様眺めの姿勢を取る向きもいる。

海上市場では、民族系最大手元売りが京浜、阪神で買付けに動いた。買値は54.9円(108.7円)と伝えられ、数量は3,000klという。

○灯油

前日比0.15円安の52.0～52.4円。

スポット市況は小幅安。実需の後退や元売りの仕切り価格引き下げを背景とした先安観から、唱えを下方修正する売り手が見られた。見積もりベースでは52.2～52.4円など52

円台前半が複数の卸業者から提示されている。市場参加者の中に52円で売り込む向きがあった。52円台半ば以上で様子見する向きもいるが、同価格帯へのオーダーは少ないという。

○軽油

前日比0.1円高の51.8～52.5円。

スポット市況は小幅高。元売りの値上げに加え、ディーラーに対して出荷枠削減を通知する売り手もいるため、供給不安から唱えを引き上げる向きも多い。見積もりベースでは

51.8～52.5円など52円台前半がボリュームゾーンとなっている。しかし、前日に52円前後を打ち出していた卸業者の中には、価格を52.4～52.5円に上方修正して提示するケースも少なからず見受けられた。

○重油

A重油は50.3～51.3円、LSA重油は50.8～51.8円と前日から横ばい。

スポット市況に変化は無い。A重油の売値は引き続き50円台後半～51円前後が中心値

となっており、50.3～51.3円が複数の売り手から提示されている。一方、LSA重油はA重油比で0.5円程度の上ザヤを形成、50.8～51.8円が提示された。

産燃関係では、3月納期の入札として佐賀

の冷凍食品向けA重油200klが、届け51円前後で落札された。

JONET(ジャパンオイルネットワーク)八代油槽所では2～7日の間、LSA重油の出荷規制が敷かれる。

◎国内ローリーラック(陸上)JOF・OTC・T-WINDOW成約
JOF成約は午後2時～2時30分に限定

油種	場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件
ガソリン	中物桜島	T-WINDOW	10	53,000	3/2 引取り
ガソリン	TG 堺 EMG	T-WINDOW	10	53,400	明日
ガソリン	千葉	JOF	50	53,500	コスモ
軽油	川崎 陸上	JOF	36	51,500	未課税 東燃ルート
軽油	川崎 陸上	JOF	36	51,500	未課税 東燃ルート
軽油	川崎 陸上	JOF	18	51,500	未課税 東燃ルート
軽油	川崎 陸上	JOF	18	51,500	
軽油	川崎 陸上	JOF	18	51,500	

◎マーケットニュース
○JXエネ=2日以降の先行指標、ガソリンは1円引上げ

JXエネルギーは1日、2～8日出荷分に適用する先行指標価格について、ガソリン、軽油、重油を1円の引上げ、灯油を1円の引下げと通知した。複数の大手特約店が明らかにした。

昭和シェル石油は2月28日、3月1～7日出荷分に適用する系列向け卸価格をガソリン、軽油で2円、灯油、重油で1円引き上げると通知していた。

○出光興産=2日以降の系列仕切り価格、ガソリン2円引き上げ

出光興産は2日以降出荷分に適用する系列向け仕切り価格について、ガソリンを2.0円、軽油、重油を1.0円それぞれ引き上げる一方、灯油を据え置くと通知した。複数の特約店が1日に明らかにした。

JXエネルギーは2日からの先行指標価格について、灯油を1.0円引き下げ一方、その他の油種を1.0円引き上げると通知した。

○週間SS市況調査=レギュラーガソリン、5週ぶりに値上がり

資源エネルギー庁が1日に公表した給油所の週間市況調査によると、先月27日時点の全国平均価格は、レギュラーガソリンが前週より0.2円高の130.8円と5週ぶりに値上がりとなった。ハイオクガソリンも0.2円高の141.6円となった。

都道府県別の動向として、レギュラーガソリンの値上がりは27府県、横ばいは7道県、値下がり13都府県。沖縄県を除く都道府県別のレギュラーの最安値は、埼玉県(前週から0.1円安)の125.6円。対する最高値は長崎県(同横ばい)の139.2円だった。

軽油は110.2円と前週比0.1円高で、5週ぶりに上伸。灯油は78.0円(18リットルあたり1,404円)で、横ばいとなった。

都道府県別・石油製品市況週動向査=2017/2/27

	ハイオク		レギュラー		軽油		灯油(店頭)	
	円/ℓ	前週比	円/ℓ	前週比	円/ℓ	前週比	円/18ℓ	前週比

北海道局		139.3	0.0	128.4	0.0	110.8	+0.1	1,415	-3
東北局	青森	139.0	-0.2	128.0	-0.1	108.3	-0.1	1,322	-4
	岩手	139.6	-0.6	128.7	-0.6	107.0	-0.6	1,325	-10
	宮城	140.9	+0.3	130.2	+0.2	109.3	+0.1	1,340	+1
	秋田	142.2	-0.4	131.2	-0.4	112.1	0.0	1,344	-2
	山形	142.2	0.0	131.0	0.0	111.2	0.0	1,352	-2
	福島	141.7	-0.9	130.5	-0.9	110.2	-0.7	1,363	-2
		140.9	-0.3	129.9	-0.3	109.5	-0.3	1,341	-3
	茨城	137.7	+0.1	126.6	0.0	103.2	+0.2	1,358	0
	栃木	138.7	+0.3	127.7	+0.3	106.8	+0.1	1,382	-1
	群馬	140.1	+0.8	129.0	+0.9	107.6	0.0	1,406	+1
関東局	埼玉	136.4	-0.1	125.6	-0.1	103.4	+0.5	1,375	0
	千葉	138.0	+0.2	127.4	+0.2	105.1	0.0	1,400	0
	東京	142.6	-0.2	132.0	-0.8	111.8	-0.8	1,554	-11
	神奈川	138.5	0.0	127.5	+0.1	106.2	0.0	1,476	+1
	新潟	140.8	+0.2	129.8	+0.2	112.0	+0.3	1,428	+9
	長野	144.8	+0.4	133.4	+0.4	113.2	0.0	1,377	-3
	山梨	141.4	+0.3	130.1	+0.3	106.5	+0.3	1,399	+4
	静岡	143.3	+0.4	132.0	+0.4	111.5	+0.2	1,432	+5
		140.2	+0.2	129.2	+0.1	108.0	0.0	1,421	0
		141.7	+1.5	130.6	+1.4	111.9	+1.3	1,412	+3
中部局	愛知	144.7	+0.4	133.5	+0.4	113.9	+0.4	1,352	-3
	三重	142.2	+0.5	130.8	+0.5	113.4	+0.3	1,415	0
	富山	143.2	+0.8	132.0	+0.8	112.4	+0.8	1,403	+4
	石川	140.5	-0.3	129.8	-0.3	106.7	-0.2	1,342	0
		142.3	+0.7	131.2	+0.7	111.7	+0.7	1,390	+1
	福井	143.5	+0.7	132.0	+0.7	110.9	+0.2	1,422	-1
	滋賀	144.0	+0.1	133.6	+0.2	109.3	+0.2	1,444	+2
	京都	143.2	-0.1	132.3	-0.1	112.5	+0.2	1,454	+1
	奈良	141.0	-0.4	130.1	-0.3	110.9	-0.6	1,381	-8
	大阪	140.4	+0.4	129.7	+0.3	108.2	+0.3	1,419	+8
近畿局	兵庫	141.3	+0.1	130.6	+0.1	107.6	0.0	1,387	+2
	和歌山	142.3	+0.1	132.3	0.0	109.5	0.0	1,374	-3
		142.1	+0.1	131.4	+0.2	109.7	+0.1	1,413	+2
	鳥取	141.3	-0.3	130.3	-0.3	111.3	+0.2	1,403	+3
	島根	144.1	+0.3	133.0	+0.3	115.8	+0.2	1,481	+4
	岡山	138.1	+0.5	127.4	+0.5	107.2	+0.7	1,347	+13
	広島	140.3	+0.1	129.4	+0.1	112.1	0.0	1,386	-1
	山口	140.0	-0.1	129.1	0.0	111.5	0.0	1,390	-2
		140.8	+0.2	129.9	+0.2	111.7	+0.3	1,402	+5
	中国局	徳島	138.9	+1.9	127.9	+1.8	103.9	+0.6	1,341
四国局	香川	141.8	+0.2	131.0	+0.3	106.3	+0.2	1,343	-1
	愛媛	142.5	+0.1	131.7	+0.1	111.3	+0.2	1,385	+1
	高知	142.8	0.0	132.6	0.0	113.4	0.0	1,376	0
		141.6	+0.5	131.0	+0.6	108.9	+0.2	1,363	+1
	福岡	141.6	-0.1	130.6	-0.1	106.8	+0.3	1,371	-3
	佐賀	144.6	-0.1	133.7	-0.1	112.9	-0.4	1,438	-1
	長崎	149.2	0.0	139.2	0.0	121.7	+0.1	1,475	+1
	熊本	142.0	0.0	131.0	-0.1	108.6	0.0	1,361	0
	大分	145.9	+0.1	135.1	+0.2	113.5	+0.1	1,431	+2

宮崎	141.3	+0.2	130.5	+0.2	108.7	+0.2	1,421	0
鹿児島	147.7	+0.1	138.4	+0.1	118.4	0.0	1,534	-3
九州局	144.7	0.0	134.3	+0.1	113.2	+0.1	1,438	-1
沖縄局	147.2	+0.6	136.4	+0.8	115.4	+0.3	1,642	+6
九州沖縄局	145.0	+0.1	134.5	+0.1	113.4	+0.1	1,452	+1
全国平均	141.6	+0.2	130.8	+0.2	110.2	+0.1	1,404	0

出所: 資源エネルギー庁、調査対象は約2,000店。

ガソリン、軽油は円/ℓ、灯油は店頭18ℓ。現金ベース。

○東京都トラック協会=17年1月の軽油価格、2ヵ月連続して全価格で前月を上回る

東京都トラック協会が実施した軽油価格調査によると、同協会会員の1月の軽油購入平均価格は全形態で2ヵ月続けて前月価格を上回った。また、前年同期比でも値上がりとなった。

消費税込みのローリー持ち届けは88.6円(消費税抜き84.415円)/リットルと前月より2.5円高となり、4ヵ月続けての値上がり。前年同月比でも11.1円高となった。

また、スタンド給油価格は97.5円と前月比2.5円高、前年同月対比では5.7円高となった。カード給油は元売り発行分が前月を3.4円上回る100.8円で5ヵ月続けての値上がり、前年同月と比べても14.1円高だった。ディーラー発行のものは、前月比2.4円高の93.8円で、前年同月では10.8円上回った。

○石連・全国=1月の石油製品販売実績、灯油は前年比0.9%の減販

都道府県	揮発油		灯油		軽油		A重油		C重油	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
2017年1月										
北海道	175,051	-0.1	486,095	6.4	174,706	12.0	116,734	-7.8	236,186	-4.7
青森	48,286	3.8	97,432	1.1	33,679	-3.7	25,493	4.6	7,211	-23.1
岩手	49,001	3.2	62,383	-0.4	38,294	-3.4	20,637	-6.6	2,108	19.0
宮城	94,341	-3.7	90,203	-2.4	72,825	-4.8	29,013	-27.1	2,773	-1.4
秋田	37,163	6.7	65,231	5.6	21,859	10.1	9,644	8.8	30,899	106.0
山形	40,384	6.0	59,568	9.7	24,188	12.7	16,182	3.7		0-100.0
福島	75,548	-0.3	61,225	-0.3	50,754	1.3	23,824	-4.2	68,263	-42.2
小計	344,723	1.2	436,042	1.7	241,599	-0.4	124,793	-8.0	111,254	-24.3
茨城	126,355	0.8	59,031	-4.6	76,926	0.3	38,901	-3.4	133,282	35.7
栃木	81,504	3.1	48,120	3.6	47,733	2.3	24,976	0.1		0-100.0
群馬	72,111	-1.3	44,396	1.5	36,076	5.2	19,491	-11.4	173	-9.9
埼玉	193,823	1.5	79,614	8.4	104,294	9.6	11,832	8.6	108	50.0
千葉	188,227	4.0	66,228	-6.6	95,482	1.0	22,425	12.4	78,773	-10.1
東京	530,954	-4.5	278,914	-9.9	305,954	6.0	138,244	-8.6	105,642	-1.3
神奈川	179,353	0.6	90,255	-0.8	99,626	-5.5	19,461	38.0	10,501	33.5
山梨	29,811	0.7	22,824	21.4	14,307	1.9	8,116	-0.3		0-100.0
長野	81,069	0.5	91,180	0.1	38,399	4.1	19,179	1.0		0-100.0
新潟	92,366	0.4	103,979	2.7	51,885	5.1	16,342	-8.0	9,742	18.3
静岡	133,335	2.3	47,686	1.7	84,481	5.5	39,298	7.7	18,317	-5.7
小計	1,708,908	-0.4	932,227	-2.4	955,163	3.6	358,265	-1.8	356,538	8.5
愛知	263,331	-1.8	89,845	-7.1	151,258	8.1	69,083	-3.3	22,276	41.9
三重	104,808	-1.2	45,865	0.4	67,112	-1.3	24,115	0.3	28,022	72.8
岐阜	70,887	0.5	31,633	6.2	31,331	-0.6	10,339	-1.3	1,642	17.4

富山	36,871	1.5	28,642	1.9	21,342	0.5	11,300	-7.5	25,858	203.2
石川	47,816	-0.4	42,340	2.0	27,534	-4.9	17,684	11.6	604	-8.2
小計	523,713	-1.0	238,325	-1.4	298,577	3.1	132,521	-1.1	78,402	84.5
福井	29,387	-1.0	23,138	-2.3	17,884	5.5	6,243	-0.9	22,307	-5.6
滋賀	47,256	-1.4	23,487	1.7	23,414	-0.9	6,214	15.3	9	-55.0
京都	55,451	0.9	21,476	9.3	32,477	2.5	5,441	14.2	1,912	-52.4
大阪	200,812	-1.6	66,214	-6.0	128,613	-5.9	28,223	-14.3	34,693	-18.6
兵庫	138,004	-2.1	62,631	5.1	87,230	1.6	33,668	15.5	6,209	19.1
奈良	36,025	2.1	12,483	4.2	12,024	5.7	2,022	2.8		0-100.0
和歌山	27,260	10.1	11,554	-0.6	10,809	-4.5	11,552	35.0	852	-7.0
小計	534,195	-0.6	220,983	0.4	312,451	-1.6	93,363	4.9	65,982	-13.6
岡山	75,763	-0.3	50,560	-2.4	47,634	4.8	34,668	-10.4	51,393	-52.3
広島	88,726	-1.8	39,482	-7.0	56,893	-6.6	25,450	-10.6	28,121	-7.9
山口	55,390	1.7	43,919	-9.8	39,301	12.2	42,369	2.9	59,411	32.6
鳥取	23,061	6.6	14,021	2.4	12,729	10.4	10,019	28.2	3,434	-16.7
島根	21,266	-2.2	12,650	-0.9	10,788	0.4	9,046	-1.4	1,464	-34.1
小計	264,206	0.0	160,632	-5.2	167,345	2.2	121,552	-3.0	143,823	-24.1
徳島	27,132	17.2	10,868	6.3	12,589	-4.3	5,873	-0.3	36	-99.9
香川	45,128	-4.8	19,008	-21.4	31,071	-21.0	12,998	0.8	11,620	83.0
愛媛	45,621	-4.4	21,165	-10.5	25,463	-1.0	18,175	2.1	17,425	-25.0
高知	21,948	9.0	9,356	0.5	11,759	5.2	17,814	4.2	496	25.9
小計	139,829	1.0	60,397	-10.3	80,882	-9.5	54,860	2.2	29,577	-53.1
福岡	157,008	-1.1	58,873	-18.9	96,155	10.4	54,142	-4.5	24,838	7.0
佐賀	28,502	10.8	8,591	-10.4	18,915	2.4	12,718	-26.1	2,606	-24.8
長崎	39,895	7.3	14,612	-15.9	21,212	-10.4	25,379	-6.7	7,528	-68.4
熊本	51,408	7.0	19,737	-13.6	31,362	14.4	23,507	-9.5	1,398	-29.7
大分	44,380	3.9	17,132	-9.2	23,816	6.6	18,139	12.8	22,498	16.2
宮崎	39,680	7.1	13,761	-0.5	21,748	5.3	27,447	32.3	1,336	-83.9
鹿児島	64,555	-0.5	23,664	-6.1	35,610	2.7	33,464	3.9	20,131	29.6
小計	425,428	2.7	156,370	-13.3	248,818	6.2	194,796	-0.7	80,335	-16.0
沖縄	50,153	9.0	10,735	90.9	20,266	15.5	17,730	-2.7	23,327	8.7
合計	4,166,206	0.12	1,701,806	-0.92	1,499,807	2.81	1,214,614	-2.31	125,424	-7.1

単位:kl、%

出所:石油連盟

○原油・石油製品供給統計週報＝＜石油連盟全国＞

	今週 2/19～2/25	前週 2/12～2/18	前週比
製油所稼働状況			
週間原油処理量(kl)	3,914,360	3,959,866	-45,506
週間トッパー実稼働能力(b/d)	3,789,700	3,789,700	+0
週間トッパー実稼働率	92.8%	93.9%	-1.1
週間トッパー設計能力(b/d)	3,789,700	3,789,700	+0
週間トッパー設計能力稼働率	92.8%	93.9%	-1.1
石油製品週末在庫			
ガソリン	1,710,857	1,863,773	-152,916

ナフサ	1,324,503	1,512,884	-188,381
ジェット燃料油	875,198	914,606	-39,408
灯油	1,417,857	1,456,453	-38,596
軽油	1,608,474	1,663,586	-55,112
LSA 重油 (S分 0.1%以下)	268,523	268,876	-353
HSA 重油 (S分 0.1%超)	470,146	477,660	-7,514
A 重油計	738,669	746,536	-7,867
LSC 重油 (S分 0.5%以下)	678,238	643,662	+34,576
HSC 重油 (S分 0.5%超)	1,308,586	1,263,634	+44,952
C 重油計	1,986,824	1,907,296	+79,528
合計	9,662,382	10,065,134	-402,752
原油・半製品・装置原料週末在庫			
原油	13,032,218	12,296,166	+736,052
粗ガソリン	2,652,057	2,659,129	-7,072
粗灯油	517,190	624,725	-107,535
粗軽油	747,923	784,897	-36,974
粗A重油	634,297	650,763	-16,466
装置原料	2,694,723	2,697,314	-2,591
合計	7,246,190	7,416,828	-170,638
石油製品生産量			
ガソリン	983,524	1,075,909	-92,385
ナフサ	444,156	393,922	+50,234
ジェット燃料油	203,427	237,013	-33,586
灯油	574,106	486,487	+87,619
軽油	813,915	880,963	-67,048
LSA 重油 (S分 0.1%以下)	163,402	154,356	+9,046
HSA 重油 (S分 0.1%超)	131,713	192,741	-61,028
A 重油計	295,115	347,097	-51,982
LSC 重油 (S分 0.5%以下)	41,585	48,290	-6,705
HSC 重油 (S分 0.5%超)	329,704	341,948	-12,244
C 重油計	371,289	390,238	-18,949
合計	3,685,532	3,811,629	-126,097
石油製品輸入量			
ガソリン	n. a.	n. a.	-
ナフサ	n. a.	n. a.	-
ジェット燃料油	n. a.	n. a.	-
灯油	n. a.	n. a.	-
軽油	n. a.	n. a.	-
LSA 重油 (S分 0.1%以下)	n. a.	n. a.	-
HSA 重油 (S分 0.1%超)	n. a.	n. a.	-
A 重油計	n. a.	n. a.	-
LSC 重油 (S分 0.5%以下)	78,083	92,212	-14,129
HSC 重油 (S分 0.5%超)	7,775	0	+7,775
C 重油計	85,858	92,212	-6,354
合計	n. a.	n. a.	-
石油製品輸出量			
ガソリン	161,152	132,947	+28,205
ナフサ	12,500	0	+12,500
ジェット燃料油	179,574	151,067	+28,507
灯油	19,999	0	+19,999
軽油	167,179	205,874	-38,695
LSA 重油 (S分 0.1%以下)	4,535	1,382	+3,153

HSA 重油 (S分 0.1%超)	13,898	28,618	-14,720
A 重油計	18,433	30,000	-11,567
LSC 重油 (S分 0.5%以下)	0	23,784	-23,784
HSC 重油 (S分 0.5%超)	84,190	146,660	-62,470
C 重油計	84,190	170,444	-86,254
合計	643,027	690,332	-47,305

単位: kl

「n.a.」は現時点でサンプル数が少ないため発表対象外

○石油製品の推定週間出荷量(内需) 全国						
	2017/2/19~2/25		前週比		前年比(2/21~2/27)	
	出荷量(kl)	日量平均(kl)	%	kl	%	kl
ガソリン	975,288	139,327	+18.4	+151,296	-4.9	-50,776
ナフサ	-	-	-	-	-	-
ジェット	63,261	9,037	-18.4	-14,309	-65.3	-118,966
灯油	592,703	84,672	+6.3	+35,238	-0.4	-2,587
軽油	701,848	100,264	+14.3	+87,568	-4.7	-34,387
LSA 重油	159,220	22,746	+0.3	+402	-3.9	-6,431
HSA 重油	125,329	17,904	-22.4	-36,093	-24.5	-40,644
A 重油計	284,549	40,650	-11.1	-35,691	-14.2	-47,075
LSC 重油	85,092	12,156	-24.4	-27,441	-26.2	-30,185
HSC 重油	208,337	29,762	-15.7	-38,685	-8.2	-18,523
C 重油計	293,429	41,918	-18.4	-66,126	-14.2	-48,708
合計	2,911,078	415,868	+5.7	+157,976	-9.4	-302,499

石油連盟週報から推計 合計にナフサは含んでいない
 当該週出荷=前週末製品在庫+当該週生産+当該週輸入-当該週輸出-当該週末製品在庫

◇弊社ウェブサイトURLは www.rim-intelligence.co.jp

◇リム価格は登録商標です。登録番号は第5387777号。

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

[東京本社]

Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415

e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

[シンガポール支局]

Tel:(65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894,

e-mail:hagimoto@rim-intelligence.co.jp

[北京支社]

Tel:(86)10-6498-0455, Fax:(86)10-6428-1725

e-mail:guanhong@rimbj.com

[インド支局]

Tel:(91)-98795-50717, e-mail:kamlesh@rim-intelligence.co.jp



RIM INTELLIGENCE

Lorry Rack

*3F·Yaesudori·Hata·Bldg.·1·Chome·9-8·Hatchobori,·Chuo-ku,·Tokyo·Japan
Tel:81-3-3552-2411·Fax:81-3-3552-2415·e-mail:info@rim-intelligence.co.jp*

[上海支社]

Tel:(86)-21-5111-3575, e-mail:rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2017 RIM INTELLIGENCE CO.